

本県教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- ・郷土を愛し 協力しあう心を育てる

【新】茨城県総合計画 ～「新しい茨城」への挑戦

基本理念『活力があり、県民が日本一幸せな県』

Ⅲ「新しい人材育成」

茨城県の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指す

政策 1.1 次世代を担う「人財」

政策 1.2 魅力ある教育環境

政策 1.3 日本一、子どもを産み育てやすい県

政策 1.4 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城

政策 1.5 自分らしく輝ける社会

学校教育指導方針～学校教育推進の柱

すべての子どもの可能性を引きだす活力ある学校づくり

- 1 確かな学力を育む教育の推進
- 2 豊かな心を育む教育の推進
- 3 健やかな体を育む教育の推進
- 4 時代の変化やグローバル社会に対応できる教育の推進
- 5 自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進

家庭・地域 ～連携と協働～

■家庭や地域との連携・協働

- ・コンプライアンス推進委員会や学校評価（学校関係者評価）の有効活用
- ・保護者や地域の方との丁寧な関わり（時間と足を使って）による信頼関係づくりと連携・協働を推進
- ・PTAとの連携・協働

■教育活動の積極的な情報発信

- ・各種たよりや学校ホームページの充実

■地域の教育力を生かした学校づくり

- ・校外学習ボランティア等による授業支援
- ・引き渡し訓練の実施
- ・登下校パトロール隊との連携
- ・第七地区コミュニティとの連携
- ・七小子ども連合会との連携

古河第七小学校の教育



R 4. 4. 1



【学校教育目標】 いきいき七小っ子の育成 なかよくする子 勉強する子 運動する子

【目指す学校像】 一人一人を大切にする学校 磨き合い高め合う学校 地域とともに歩む学校

【組織目標】 自己肯定感を育み 成長する喜びを実感できる教育活動の推進

4つの基本方針

めざす児童像

- ・仲良く助け合う子
- ・自ら進んで学習する子
- ・健康で最後までやりぬく子

- 1 どの子も認められ、大切にされる学校づくりを推進する。
- 2 学校の主体性と創意工夫で教育の質を高める。
- 3 教育目標を明確にして結果を検証し、教育の質を保証する。
- 4 地域と歩む学校づくり、郷土古河を愛する人づくりを推進する。

めざす教師像

- ・笑顔で子どもと接することのできる教師
- ・子どもの成長に喜びを見いだせる教師
- ・保護者や地域から信頼される教師

古河市教育振興基本計画

「人が育ち 文化の息づく古河をつくる」

古河市学校教育の目標

- 1 一人一人の個性や能力を伸ばし、確かな学びをはぐくむ
- 2 健やかな体をつくり たくましい心を養う
- 3 郷土古河を愛し、豊かな心をつちかう

児童 ～知・徳・体の調和～

■「個別最適な学び」「協働的な学び」という学びのスタイルの確立

- 「個別最適な学び」の実現に向けて
 - ・子どもたち一人一人の学習状況に応じた、知識・技能の習得等に効果的な学習
- 「協働的な学び」の実現に向けて
 - ・子どもたち一人一人の課題解決に向けた対話的協働的な学びあい
- 一人一台端末の活用、教科担任制の推進

【学び合いの場の設定】
目標値 学校評価
児童 3.0

■全教育活動を通した豊かな心の育成

- 「特別の教科 道徳（道徳科）」を要とした教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実
 - ・道徳科における「考え、議論する道徳」の推進
- 体験活動・特別活動の充実
 - ・「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を踏まえた特別活動の工夫、読書活動の充実、心が触れ合う場の設定

【読書】目標値
50冊 90%
300冊 10%

■たくましい児童の育成

- 学校教育活動全体を通した体力の向上
 - ・これまでの体力テストの結果を踏まえた体育授業、業間運動、体育的行事の工夫
- 健康教育の充実～学校保健委員会との連携
 - ・健康の保持増進、自他の生命尊重を基盤とした安全能力や食の自己管理能力等の育成
- 感染症対策と新しい生活様式の確立

【体力テスト】目標値
A+B 38%

【感染症対策】目標値
学校評価
保護者 3.5 児童 3.7

■SDGsの視点に立った教育の推進

教職員 ～学びの質を追求する教師集団～

■研修の充実～主体的に取り組む研修の実施

- ・「自己肯定感を育むための学級づくり」を目指したプランの立案、実践、及び検証改善サイクルの確立

■教職員の資質・能力の向上～学校活性化・教育力向上

- ・教員評価及び人事評価を生かした人材育成の推進
- ・「資質の向上に関する指標」を踏まえた研修の推進

■学校段階等間を円滑に接続するための取組（保幼小中連絡推進委員会等）の推進

- ・古河二中学校区小中連携のより一層の充実
- ・スタートカリキュラムの活用と情報共有

■服務規律の確保

- ・ミニ研修等の工夫によるコンプライアンス推進
- ・風通しのよい、望ましい職員集団づくり
- ・温かな人間関係づくり

■働き方改革の推進による持続的な教育活動の展開

- ・教育活動指導員、各種支援員、専科教員等との連携
- ・業務改善、行事の精選によるゆとりある教育活動の推進
- ・定時退勤日の設定

【働き方改革】目標値
勤務時間外在校時間
月 45 時間未満 100%